

健康・医療・介護・福祉ニュース

◆最新の健康・医療・介護・福祉などに関するニュースを集めて紹介します。

地域医療の

架け橋に

奈良医療センター

「ペインクリニック診療科」

は、痛みの治療を専門とする、日本では50余年の歴史を持つ比較的新しい診療科です。

痛みは身体の異常を教えてくれる働きを持つ一方、あまりにも強い痛みや長く続く痛みは、日常生活を大きく妨げます。ペインクリニックでは、これらの痛みに対してさまざまな薬や神経ブロックという方法を用いて痛みを和らげ、日常生活をよりよく過ごせることを目的としています。

ペインクリニック治療の対象となる病気と、当院で行っている治療法を簡単に紹介します。

▼薬物治療

けがや炎症など、身体が傷ついた時には消炎鎮痛剤がよく用いられ、実際よく効きます。しかし、神経自体に障害が及んでいる痛みや、長引いて心理的な要素が多く加わった「痛み」に対して、それま

長引く痛みは受診を

国立病院機構奈良医療センター 福島 哲志
ペインクリニック 外科 医長



志リ科 哲ク外 島ベニ 福ベニ 福島 哲志 医長

【略歴】平成2年、奈良県立医科大学卒。奈良県立奈良病院、救命救急センター等を経て平成24年より現職。ペインクリニック認定医、麻酔専門医、救急専門医。

投薬などで症状緩和

有効な場合があり、活用しています。

▼神経ブロック

関節の痛みや神経が押さえられて起こる足腰、頸(くび)や腕の痛み、神経自体が傷ついている痛みに対してよく行います。痛みを起している場所を見つけ、その場所に細い針で痛み止めと炎症を抑える薬を少量注射して、痛みの悪循環を断ち切り、痛み止めの本来の持続時間を越えた効果を発揮します。

深いところにある神経が傷ついて起きる痛み(三叉(さんさ)へさ)

ペインクリニック治療の対象となる主な病気

(*太字は当院で多い疾患)

＜腰、臀部から足の痛み＞
腰痛症*、坐骨神経痛*～腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症など
変形性関節症*～変形性膝関節症、変形性股関節症など
下肢血行障害～閉塞性動脈硬化症、パージャナー病など

＜胸部、腹部から背部の痛み＞
圧迫骨折
肋間神経痛など

＜頸部、肩から腕の痛み＞
頸椎症*
頸椎椎間板ヘルニア*
肩関節周囲炎
胸郭出口症候群など

＜頭部、顔面の痛み＞
三叉神経痛
頭痛、脳脊髄液減少症など

＜全身に見られる痛み＞
帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛*
手術後の引き続く痛み
外傷後の引き続く痛み
癌による痛みなど

に注射を行います。症状によっては、「高周波熱凝固法」という方法を併用して、効果が長く続くようにします。但(ただ)し、この

的形形成術なども行っています。椎間板ヘルニアに対する経皮的髄核摘出術は局所麻酔で行え、ヘルニアの形や大き

さなどに合わせて、さまざまできていません。

▼終わりに

県内でも、ペインクリニックを掲げている医院、病院が少しずつ増えてきています。強い痛みや長く続く痛みには、一度受診されて相談されるのはいかがでしょうか。

次回8月24日付掲載予定

治療は血液をさらさらにするお薬を飲まれている方、感染症状のある方には制限されま

▼低侵襲手術

レントゲン透視下の神経ブロック治療を応用したものです。7月にこの欄で当院の平林特命副院長が紹介した「ニユーロモジュレーション療法」の中に「脊髄(せきずい)電気刺激療法」があります。脊椎圧迫骨折に対して、経皮

弱くなり、関節のこわばりから二次的な痛みが置き換わることもあります。このような場合には「運動療法、理学療法」が治療の中心となります。また、慢性の痛みを心理的アプローチから治療する「認知行動療法」が近年注目されていますが、当院ではまだ施行

独立行政法人
国立病院機構奈良医療センター
星田 徹院長
電話0742 (45) 4591